

令和3年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立上谷小学校
実施日	R4.2.10

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 上谷小だからこそ取り組んでいることが学校だより等で伝えられている。 「笑顔で」に関して意識して取り組んでいる。 学校だより、HP等により積極的に公開し、校務分掌担当を中心に指導、評価の改善を行っている。 学級だよりの工夫や懇談会の有効活用、授業参観や公開日に多く保護者に参加してもらえよう努力をしている。 校務分掌に基づき学校づくりを行っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりで方針等が説明されている。 上谷の丘や学校だよりなどを通して保護者に分かりやすく伝えられている。 学校、学級だより、校長室の窓等を通して学校運営、教育活動が分かりやすく保護者に伝えられている。 上谷の丘、学年だよりで学校の中での出来事などを知らせようとしている。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 安全部で計画的に避難訓練や安全点検が行われている。 定期的な避難訓練やそれに関わる防火扉の研修を行っている。 教員が自分で抱え込まず組織的に対応する教員が多い。 本年度電巻訓練を行った。毎年防火扉開閉体験などを工夫してできている。 報告、連絡、相談を徹底して行っている。 校長からの指示伝達や倫理確立委員会、プリント配布等で職員への定期的な周知、研修が行われている。 周囲の先生方が常に助言してくれたり、ともに指導してくれたりするので協力ある対応ができている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 訓練等の実施により組織的にできている。 職員間の連携がとれており問題解決が組織的に行われている。 事態に即した訓練が行われている。 今後も危機管理の徹底に努めていただきたい。 引き渡し訓練をしたり、避難訓練をしたりして子供も保護者も先生方もしっかりやっている。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝の昇降口を開けるのをもう少し遅くする必要がある。勤務時間前まで慌ただしい。 市賞職員の休憩時間は保障されているが果賞職員は取れず平等ではない。 どの職員も効率的に仕事をしている。会議等も精選されている。 意識していると考えが休日にも働いていることを考えると改善が必要。 勤務時間に関しては把握はできているが活用されているとは言いが切れないが、早く帰る環境はできている。 会議、行事の精選、業務内容の見直し等管理職を中心に行われている。 時間外勤務の調整はあるが職務上調整や年休を使い切ることが困難である。 出勤時のチェックをパソコンで確実にしている。 人によって年休、子育て休暇の取得率に大きな差がある。残日数を定期的に通知するなど周知を徹底したい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 常に業務の見直しをして不要な業務を切り捨てていく決断が必要。本来の教育者としての仕事に専念してほしい。 仕事量は個々によって違いはあるようだが教職員が効率よく仕事ができているように感じる。 先生方の仕事は際限なく終わりが無いことは十分理解しているが、教育活動、業務内容の見直し等、少しでも先生方の負担が少なくなるような体制作りをお願いしたい。 学校の職員室の電気が夜遅くまでついていることが減った。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> 他校の研究授業を見る機会が減ってしまっているので坂戸市の全校共有に「指導案フォルダ」を作って欲しい。 夏季研修で学力調査の結果を全職員で分析、共有し学び合いを取り入れた学習を取り入れている。またパワーポイントを使用した自主的研修を夏季研修で発表している。 人間学カテストの問題を教科書に貼り適応問題等を出題し苦手意識をなくすよう努力をしている。 研究授業は全員ができています。 一人1研究授業を行い指導力の向上を図っている。また職員室内でも教材研究を行ったり、ベテラン教員に助言を受けたりする機会が多い。 研究授業などでは指導案作りから評価まで、意見交換しながら進められている。 定期的な授業研究や職員同士で教材研究をしている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が研鑽できる時間をとってください。 全体的に学力が向上してきているとのことから、子どもたちの苦手意識をなくす工夫がされているように感じる。 パソコンを使って調べ物をしたりして子供たちも楽しく飽きることがないようにやっている。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 研修で道徳の指導の仕方を行い重点項目内容を意識した指導ができるようになったので良いと思う。(2) 算数科などで少人数指導を行ったりTTを行ったりしている。 上谷小は芸術鑑賞をしていて経験豊富な活動は心の成長につながる。 教員同士の連携もとりつつ子どもの指導、学級指導を行っている。 個別指導等に取り組んでいる。 生徒指導会議で事例研修や、主任会などの報告がなされ児童理解に立った指導を共通理解している。 命の大切さを学べる機会をたくさん作っている。 放課後、複数の教員による補習が行われている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は前向きに授業を行っている。道徳教育を進めて日本人として恥じない日本にして欲しい。 放課後補習など行うなど工夫がされている。 少人数指導や補習など、とてもよい取り組みである。 苦手な教科の少人数指導や夕方の補習を行っているところ。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活目標をスパイラルにしていることで年度当初より挨拶をする児童が増えている。(児童の意識調査も同様) 教員も進んで挨拶をするとうい。 宿題は保護者の理解と協力が必要である。 宿題、忘れ物等家庭環境を配慮しながら協力を呼びかけ、改善が図られている。 めあて、まとめの筋が通る授業を行い、自分の考えをもって交流する時間を確保する授業が行われている。 忘れ物などには課題があるが保護者の協力が必要である。 落ち着いた学習している。 全体的に「進んで」何かに取り組むことは弱い。 先生や外部から来た人へも進んであいさつをすることができる。 あいさつや言葉遣いなどできる児童とできない児童の差が大きい。宿題をしてこない子や忘れ物が多い。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝、出かける時に会うとお互いに挨拶をしている。 校内ですれ違った時はあいさつしてくれる児童が多い。 はずかしくてあいさつをしない児童もいるが先生方もしっかりあいさつをしてくれていると思う。 進んであいさつができています。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に回数も多く、定期的に倫理確立委員会を行い研修を行っている。 倫理確立委員会、生徒指導会議等で研修などができ、共通理解が図られている。 なんでも言い合える職場の雰囲気づくりをみんなが心がけている。 定期的な倫理確立委員会や不祥事に関するプリント配布で研修等ができています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 常に最高の倫理観を持って臨んでください。 行事などを見ていると教職員同士の連携がよくとれているので職員室の風通しが良いように感じる。 職員間の雰囲気や安心できる場だと感じる。一番安全な信頼する校内で不祥事が起こることはあってはならないことなので先生方の高い意識のもと学校全体で取り組んでいただきたい。 先生たちの仲がよい。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生たち全員が児童と関わろうとしているのでみんなで児童を育てようとしていてよい。 個に応じた言葉かけや問題があった時も早期解決のため一人ひとりと話すなど丁寧に対応している。 毎月全員で児童の情報を共有する時間がある。またスズキ校務の日々の様子にこまめに記録することで共有できている。 教員と児童の信頼関係が築けている。個への支援をするために実態の把握や指導の工夫が確実にできている。 保護者との面談等の参加を積極的に呼びかけ頼頼しながらも学校でできる支援を保護者に伝えている。 個に応じた指導を大切にしている。 保護者ともよく連絡を取り児童一人一人と向き合っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は一人一人に向き合って対応されている。 保護者面談を行うなど子ども保護者に丁寧に配慮されていると思う。 全職員で一人一人を見るという雰囲気があり大切に育てていると感じる。 しっかり子どもの話を聞いてくれている。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育については夏に研修を行った。 交流時等、担任だけでなく不安傾向のある児童を探し、一緒に対処法を考えてほしい。 夏季休業中の研修やケース会議など必要に応じて研修を行っている。 研修や全校的な取り組みがあってもよい。 夏季研修を行ったが全職員が共通認識を持てるとよい。 長期休業中などを利用し、研修を行い理解を深めている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は共通の認識をもって対応されている。 配慮を必要とする児童の行事に参加できるように対応している。 特別支援学級の担任と傾斜しないように全職員の共通理解が必要であり研修や通常学級との交流が積極的に行われているのはよい。 特別支援学級も通常学級と一緒に授業をするところ。
	10	学校は、安心安全で機能的な学習環境整備に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 清掃用具の補充を定期的に行ったり、修繕をしたりして対応している。 定期的に安全点検を行っている。(2) よくできていると思うが、廊下掲示はもう工夫が必要と感じる。 掲示の工夫がなされている。子どもの活動が分かる掲示が多い。 備品の整理等は教頭を中心に計画的に行われている。 清掃用具は決められた場所になっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 校長先生、自ら木の伐採を行っているのは脱帽です。 掲示物を通して児童の頑張っている姿が見え、興味を引く掲示になっている。 しっかり整理ができています。 掲示物がとても見やすく校内も整理整頓されている。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、ホームページ、メール等で保護者に学校の情報を提供している。メールについては特に有効活用されている。 本校のHPはレベルが高いと思う。 情報公開はできているが公開する内容は工夫の余地があるかもしれない。 ホームページでの情報公開や更新、メールでの防犯に関する情報提供など迅速に対応している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりの内容が充実しており、中身のある内容である。 学校は積極的に地域や保護者への情報を発信していることがうかがえる。 HPが見るたびに写真が新しくなったり更新もされているところ。 メールとホームページをリンクして活用し、保護者などへの情報発信をもっと多くするとよい。 メールなどで早急に保護者への情報提供ができていると感じる。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 人材バンク一覧表があるとよい。 学校の中で地域の人材を活用したり社教や施設とも連携している。 地域人材については課題があるが策が思いつかない。 スーパーや消防署の見学など協力的な人材が多い。 さわやか相談員、スクールカウンセラー等の協力や関係機関と連携し不登校児童への適切な支援を行っている。 地域の方が朝、下校時にコントロールを積極的に行っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の見守りで安心して登校できている。 スクールカウンセラーなど連携し、不登校児童への支援がしっかりと行われていると思う。 保護者、地域の方が朝の見守り等をやってくれている。 コロナウイルス感染防止のためなかなか実行できない現状である。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナのため、仕方ないとは思いますが小学校で培った自主学習を続けて欲しい。 小中連携では児童生徒の実態について情報交換情報交換を行い中学校の教員が小学校に来ている。 スタディーウィークも行っている。 小中で共通した取り組みはあるがより効果的な取り組みが必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も推進してほしい。 小学校に中学校の先生が授業を見に来たりしているところ。 今後も引き続き交流、連携に努めていただきたい。